

Title: 「前田さんのカルテ」



前田 明日香
友達が女の子のママになりました。もうひとりの友達。私は半年の間、写真を撮りに行きます。ありがとうございます。

前田さんのカルテ > 2006年11月 アーカイブ

06.11.07

からんでいない

● 最近のエントリー

からんでいない
(2006.11.07)

● アーカイブ

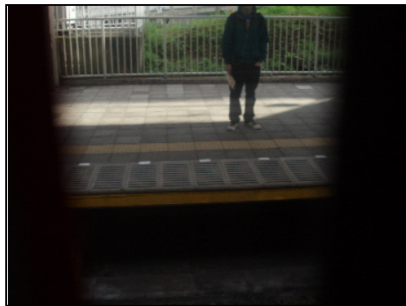
- ☐ 2007年10月
- ☐ 2007年07月
- ☐ 2007年04月
- ☐ 2007年03月
- ☐ 2007年01月
- ☐ 2006年12月
- ☐ 2006年11月
- ☐ 2006年10月
- ☐ 2006年09月
- ☐ 2006年08月
- ☐ 2006年07月
- ☐ 2006年06月
- ☐ 2006年05月
- ☐ 2006年04月
- ☐ 2006年03月

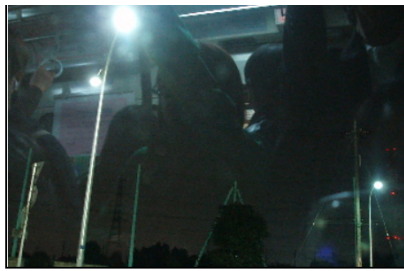
● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE



RSS 2.0





はじめに感じたのは
プリーのあとの明間でだと思えます。
かなちゃんも書いていたけれど
ひとが音がネオンがものが情報が
たくさんいたしありました。
焼き肉はおいしくお店も通りもきれい
でもなにか落ち着かなくて
早々にホテルにもどりました。
なつかしいプリーと
あまりにも違うから受け付けられないのか
と書いていたけれど
日本でも大阪です
そして最近まで何度も
同じような感覚があります。
それは
それぞれが互いに
からんでいないからじゃないかと思いました。
いるけどあるけど
それぞれはほどとはからんでいないことが
このなんかすごい違和感みたいなのを
かもしだす気がしました。
たとえば電車で
ひとがいても
それぞれの視線も動きも
ほかとからむことを未然に避けるように
抑圧されて抱え込まれて
なかでくすぶっていると疑ってしまいます。
たとえば通りで
音やものやひとがあふれそうにあっても
ちくほくしていてもなにもひびいてこなくて
自分の感覚が失われたかと疑います。
コルカタやプリーで
何をしたいか聞いてもらったことや
写真を送る約束をしたこと
出てきたなみだが手で拭かれたこと
カメラを持つわたしにたくさんの瞳がまっすぐにむけられたこと
そうしてくれた
その日出会ったひとたちを
思い出します。
ひとやものの質感や色合いや雰囲気
じっくりいって違和感のないことにはっとした感じを
思い出します。
今わたしは自分の国にいて
最近のたに
知らないひととからんでいないと思えます。
同じことを話し
同じニュースを見て
同じものを食べて出てきたかもしれないのに
この緊張。
このかくごとさぐり合いたいな感じ。
誰かに尋ねることをしなくても
どこかに明記されていたりあらかじめ整備されていたり
そつなくぬかりなく用意周到で
偶然がない。
そのほうがらくなきとき
たしかにある気がします。
一見
からんでいないとしても
みんな
あたたかいものを持っていて
冷えないように
とけないように
しまっている。
たいせつでみえなくてあたたかいもの。
それがただよって
みえなくてもどかしくて
わたしにはわかることができなくて
違和感に感じられるのかもしれないと思えます。

カテゴリ:

post by 前田 明日香 | 日時: 2006.11.07 | [バナーリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)